



宮崎学園短期大学マスコットキャラクター

忍ヶ丘だより

宮崎学園短期大学

発行
学校法人宮崎学園
宮崎学園短期大学
編集
学生募集対策委員会
〒889-1605 宮崎県宮崎市
清武町加納丙1415
電話(0985)85-0146

- 保育科
- 初等教育科
- 音楽科
- 人間文化学科
- 福祉専攻
- 音楽療法専攻
- 文化ビジネスコース
- 国語国文コース
- 医療事務・医療秘書コース

キャリアガイダンス 及び忍ヶ丘学びのサポート スタート

私もまた、 太平洋の橋とならん

学長 山下 忍

かつて盛岡の地を旅した折、公園の一角でしばし立ち止まったことがあります。眼前には巨岩に彫られた「志」がありました。「吾、太平洋の橋とならん」。盛岡が生んだ巨人、新渡戸稲造の言葉です。
学生への「キャリア支援」を考えながら、ふと「志」を想起しました。
キャリア支援は、単に就職指導を行うのではなく、人としての生き方、在り方を支援しようとするものです。それは、言葉を換えれば、若者の「志」を支援するということになるかと思えます。
学生と行動を共にしていると、「志」を高く掲げることの大事さを感じる。しばしばですが、本学の「キャリア支援」が、大いなる「こころざし支援」になればどんなによからう、そう思ったりもしています。

「キャリアガイダンス」で 自分探しをしよう!

人間文化学科長(キャリア支援課長) 久保良一

皆さんは、自分の在り方生き方について真剣に考え、行動したことがありますか。この科目は皆さんの路探しの一助にしたいと考えています。開講された科目です。
従来の大学は、学生の自主、自立の下、学生任せという自己実現でありました。そこには、キャリアガイダンスとしての助言指導がありません。それがないまま、事業所を受験していき、その後、就職しても早期離職したり、フリーターやニートになり社会問題になっていきます。このような状況を解消するために、本学としても、科目「キャリアガイダンス」の時間を開設し、学生一人一人に一年間時間をかけて「人生の歩く方向性」を示しながら、自分探しの旅をサポートすることを目的に、全教職員が全学生に対して助言指導するものです。
この科目「キャリアガイダンス」を通して、自分の人生の路を確立していただきたいと願っています。従来の路は、入社すれば、そこで働き続けることがキャリアデザインでありましたが、今日の時代の進展には目を見張るものがあります。特に、グローバル化の拡大等により、これからは個人が自ら、自己責任の上で自己決定するキャリアデザインの時代になっていきます。このことをよく噛みしめて自己実現を成し遂げていただきたいと思えます。宮崎学園短期大学は皆さんの人生の在り方生き方をこの科目を通してお手伝いできることを光栄に思っています。

新たな大学の伝統 「日本の短大を目指して」

全教員で全学生に
「キャリアガイダンス」、
少人数演習
「忍ヶ丘学びのサポート」を開始

学生支援部長 宗和太郎

本学は昨年度、キャリア支援教育を本格的に導入することし、就職指導部を改め、キャリア支援室を立ち上げました。昨年度は外部講師を起用してのキャリアガイダンスの試行でしたが、今年度は全教員で1年次必修科目として「キャリアガイダンス」を実施します。更に同じく全教員で1年生を対象に、少人数演習科目「忍ヶ丘学びのサポート」を実施します。
全国どこかの大学を探しても、全教員で協力してこの二つの科目に取り組むというようなか。それは考えられないのではないのでしょうか。それぞれの教員には専門があり、得意・不得意がある中で、本学では全教員がこれに取り組むのには訳があります。
10年ほど前から、本学は日本の短大を目指し、教職員一体となった教育改革に取り組んでいます。卒業時に卒業生の入学満足度を全学平均90%以上にする、退学者を0にすること、就職先から高い評価を得ること、その為に教職員は手間を惜しまないことなどです。
入学満足度はそれなりに上がってきた。しかし、我々教職員の手応えとしては物足りないものがありました。本学の学生はみな明るく、素直ですが、社会に貢献するたくましさという点では弱さがありました。そこでキャリアガイダンスで自分を見つめ、社会を見つめ、自分の人生を考える指導をしようということになりました。また文章を読んだり、書いたり、みんなが話し合いながら物事を進める経験がもつと必要ということになり、全教員で1年生を分担任すれば、少人数で指導を行き渡らせることができるし、互いに学び合いながら教員も学生も成長していけると考えました。
昨年度立ち上がったばかりのキャリア支援室ですが、ガイダンス機能を強化するために更に学生部と統合し、学生支援部としてキャリア支援、就職指導、学生指導、厚生の活動を組み立てていくことにしました。
学生も教職員も互いに仲良く汗をかきながら、更なる成長を目指します。宮崎学園短期大学の新たな伝統に期待ください。

キャリアを 通しての成長

人間文化学科
文化ビジネスコース2年



黒木 真奈美
宮崎県立宮崎商業
高等学校出身

私は、将来の夢を探す為に、宮崎学園短期大学に入学しました。進路を探していく上で、自分のキャリアを形成させ、将来の夢への参考になった経験が二つあります。
一つ目は、インターシップです。私は、ホテルマリックスで5日間働かせて頂きました。様々な部署を回り、客室清掃、カウンター受付、レストランでの接客等を経験しました。その中で充実感や厳しさを改めて知ることができました。又、担当の方に、仕事に対する意識や感謝の心、立ち居振る舞いを教えて頂き、精神面でも成長することができました。
二つ目は、キャリアアカウンセリングです。どの様な仕事に就きたいか分からず迷っている時、ふとポスターが目に入り通い始めました。カウンセラーの宇都宮先生と、自分の性格や考えを見つめ直す事から始め、苦手意識のあった履歴書の書き方のアドバイスも頂きました。そのお陰で、目の前の就職活動に対する不安や焦りを減らし、前向きに頑張ろうという気持ちをつかりと持つことができました。
この様な経験を通して、自分の視野を広げることができました。又、色々な物事に挑戦する事の大切さを学びました。今では、就職したい企業を見つけた事ができ、それに向けて頑張っています。これからも、自分を成長させるより良いキャリアを築いていきたいです。

イラスト
人間文化学科文化ビジネスコース2年
福岡 有加里

96.2%
高い
就職率達成

一昨年度から、全国的に求人数減少と厳選志向が続いており、今年2月末時点で宮崎県内の就職率は大学生が75.0%、短期大学生が79.1%でした。そのような就職水戸期ながら、宮崎学園短期大学は就職率96.2%を達成することができました。この高い就職率を支える要因は、資格職の強み、伝統的な信頼による求人、個別の細やかな就職指導、そして学生の積極的な就職活動によるものです。今年度も全教職員一丸となり、学生の就職活動を支援してまいります。
(就職指導課長 佐土原 敦)

平成24年度インタビュー入試日程

エントリーシート提出締切日	試験日 小論文、集団面接、個人面接
第1回 7月19日(火) 12時必着	第1回希望 7月23日(土)
第2回 8月16日(火) 12時必着	第2回希望 8月20日(土)
第3回 9月6日(火) 12時必着	第3回希望 9月10日(土)
登録書発送	9月末
出願期間	※10月11日(火)~10月18日(火) 12時必着
合格発表	11月1日(火) 12時発送
入学手続締切	11月22日(火) 12時必着

※「登録書」の通知を受けた者のみが出願できます。

平成24年度入試相談会 日程・会場

相談会場で入試要項を配布します。志望学科の内容や、各入試の説明をします。

相談会 日時	会場	本学	宮崎	延岡	都城	日向	小林	日南
第1回 6月11日(土) 13:00~16:00		○				○	○	○
第2回 6月12日(日) 10:00~13:00			○	○	○			
第3回 7月10日(日) 10:00~15:00		○	オープンキャンパス (中止の場合入試相談会予備日 7/16(土)午前中)					
第4回 8月7日(日) 10:00~15:00		○	オープンキャンパス					

※オープンキャンパス予備日 8月21日(日)10:00~15:00

会場	宮崎	宮日会館	日向	JA日向会館
延岡	延岡市社会教育センター	小林	小林市中央公民館	
都城	都城市コミュニティセンター	日南	かんぼの宿日南	

各会場では随時説明を行っています。自由にお入りください。(終了前30分までに)

夏のオープンキャンパス

7月10日(日) 8月7日(日) 予備日 8月21日(日)

無料送迎バスを用意しています。

ミニ講座、ピアノ基礎、卒業生との座談会、入試相談コーナー、ミニコンサート、学生作品展示など、多くの催しがあります。生徒さんだけでなく、ご父母の方や先生など、どなたでもおいで下さい。

同時開催 夏期音楽講習会

※申し込み希望者は音楽科未平までご連絡ください。
音楽関係進学希望者、又は迷っている人、コンクール参加者でミニレッスンを希望する人どなたでもどうぞ!!

先輩からのメッセージ

学生生活からつながる今



MCLボランティア事務局勤務
平成23年3月
人間文化学科
文化ビジネスコース卒業
福田 幸紀
(宮崎県立宮崎農業高等学校出身)

宮崎学園短期大学に入学し、「この学科で
取得できる資格は全て取得して卒業する」と
いう目標を掲げ大学生活を送りました。
資格は元々興味があった分野であるものや、
いつか役に立つだろうという思いから取り
組んできたものもあります。実際に、その中
の「司書」資格は社会人として成長していく
ための新しいステージに直結するものとな
りました。

短大生活の二年間は、驚くほど早く感じ
ました。しかし、その早さの中にも充実した
学生生活が詰まっています。私は、二年間皆
勤で卒業を迎え、入学時に掲げた目標を達
成することができました。最も記憶に残る思
いは毎日の授業、放課後の学友との何気な
いおしゃべりの時間です。勉学の面で困った
時も多々ありましたが、学友との協力で乗り
越えることができました。

就職活動としては、毎日の掲示板の求人
確認・学友との情報交換、先生方からいただ
くアドバイスを最も活用しました。「MCL
ボランティア事務局司書」の求人を知ったの
もこれらの活動の中からです。二年生の半ば
にもなると、周囲で内定者が出る中の就職活
動に焦りや不安もありましたが、内定を頂
くまでに受けた数々の試験や面接、履歴書作
成等の経験は自分自身の成長に大きく繋が
っています。

今、「の行動は、今後に繋がるとして物事
に取り組むこと・常に高い目標を持ち達成を
目指すことは学生時代同様今後も続けてい
くことの一つです。学生時間の中でしかでき
ないこと、大変貴重なことだと思えます。毎
日の授業時間も、研修で実際に市立図書館
において学び、難しさに大苦戦している今、
非常に貴重な時間だと改めて感じます。

今後は、「職場の方、利用者の方々から信
頼を得る図書館司書」という目標の形に少し
でも近づき、より成長するため日々努めてい
きます。

伝えたいこと



双葉保育園勤務
平成23年3月
保育科卒業
高田 美寿々
(鹿児島県立志布志高等学校出身)

私は今、保育園への就職が決まり、自分の
幼い頃からの夢を叶えると共に、社会へと踏
み出そうとしています。ここまで来る為には、
多くのことを乗り越える必要がありました。

短大での二年間を振り返ってみると、多く
のことを初めて経験しました。私は、地元が
鹿児島なので、初めての宮崎の地で親元を離
れての一人暮らし、大学での授業や実習など、
様々なことがありました。頼れる人が近くに
いない寂しさ、実習を通して改めて知る保育
士という仕事の責任や大変さなどを、身を
持つて体験していく中で、夢と現実の違いに
も目を向けなくてはならない時もありまし
た。しかし、そんな時にいつも励まし、支えて
くれ、理解をしてくれた家族や、沢山のこと
を共感できた学友。そして、適切な助言をく
ださった先生方など、多くの人の助けのおかげ
で今の私がいると思えます。また、常に幼い頃
からの夢を心に抱き続けていたことが、何よ
りも自分のことを支える、大きな糧となっ
たと思えます。

私は後輩の皆さんに、音楽療法士の資格
を取ることをお勧めします。今の時代、資格
ほど持つていて邪魔にならないものはありま
せん。それだけでなく、実際に体験してみ
てほしい授業ばかりだからです。一つの資格を
取るということは、容易なことではありません
が、学ぶことができるのは、学生の特権だ
と思えます。音楽は、子どもたちと楽しく歌
い、踊ることに使っただけでなく、子どもたち
に音を使って呼び掛けたり、絵本に音付けを
行うことによって、情景が想像しやすくな
ったりと、様々な使用方法があります。そのよ
うな、現場で活用できることを学べる、とて
も良い機会となると思います。

二年間は本当にあつたという間です。皆さん
は、様々な思いを抱いて入学されたと思いま
すが、この二年間を有効に活用し、学友と過
ごす学生生活を楽しみながら、自分の目標
に向かって、日々前進していったほしいです。

人間文化学科 医療事務・医療秘書コース

●日本医師会認定医療秘書試験 合格率 100% ●医療保険請求事務実技試験 合格率 87% ●日医ITレセ操作実務者資格試験 合格率 100%

第3回 子育て支援セミナー

2月2日(水)に、野崎秀正講師によ
る「子育てがもつと楽しくなる心理学」
の講演とふれあい遊びを行いました。
心の発達をわかりやすく説明した子
育てのヒント満載のお話は、子育て中
のお母さん方に大変好評でした。



親子ふれあい遊び

There's no shortcut to victory
~勝利に向かって突き進め~



上記テーマのもと、実
行委員一同、短大での全
ての出会いに感謝し、楽
しい忍ヶ丘祭になるよう
準備を進めてきました。

池田 晃也

委員長の私の不手際が多々あったの
もかわらず、予定通りに終了し、参
加者からは楽しかったという声が上が
り、教職員の皆様からはねぎらいのお
言葉を数多くかけていただきました。
この催しをきっかけに、私たちの交流
がより深まり、一人ひとりが本学を誇
りに思えるようになれば、これ以上の
喜びはありません。

専攻科(福祉専攻) 修了研究発表会

平成23年2月24日(木)、
25日(金)、専攻科(福
祉専攻)での一年間の
学習の集大成として恒
例の修了研究発表会
を実施しました。実習
で取り組んだ二連の介
護過程を事例研究と
してまとめ発表し、ま
た、同じ学友の発表を講
評するなど緊張の中
にも多くのことを学び達
成感を味わった二日間
で、介護福祉士として
な成長に繋がった研究発表となりました。



修了研究発表会

社会人一步前のおおきな学び



(株)早稲田エルダリーヘルス事業団勤務
平成23年3月 専攻科福祉専攻修了
福田 幸紀

福祉専攻科の学びの総仕上げとなる修了研
究発表会では、実習II-2で担当した利用者の
介護計画の立案から実施までの一連の過程を
事例研究としてまとめ発表しました。

述べ三ヶ月に渡る原稿作成の期間中は、何も
かもが手探りで不安も大きく、事例の難し
さに幾度も悩み先生方のご指導の下、ようやく仕
上げることができました。

発表に向け、発表原稿やスライドの作成を
行い、発表事例を知らない人に事例の特徴や
介護計画の立案・実施の過程、今回の事例を通
して学んだことなどを、いかにして伝えるか考
えながら資料の作成を行いました。

また、級友の事例発表に対し講評を述べる
など、集録を丁寧に読み込み、他人の考えに
触れたことが新たな学びとなり、改めて自分
自身の介護観の確立にも繋がる機会となりま
した。

二日間の修了研究発表会は日常とは異なる
緊張感の中、自らの考えを伝える事の難しさ
や面白さ、他者からの言葉に対する共感的理
解の大切さなど、様々な学びがありました。
これから社会人として、この専攻科で学び得
た知識は自分の宝物であると確信します。
皆さんも、二年間の学びを楽しんで下さい。

「音楽療法ミニ・フォーラム」を開催

平成23年2月11日(金)
祝日)、本学国際交流セ
ンター研修室にて「音楽
療法ミニ・フォーラム」が
開催され、シンポジウム
や事例発表、交流会が行
われました。本学の卒業
生の方々、福祉施設の職
員や支援学校の先生方
など総勢58名の方々が
参加され、共に学び合う
良い機会となりました。



シンポジウムでは、障害児・高齢者の領域での
音楽の活用の可能性について学びました。

「音楽療法ミニ・フォーラム」に参加して



宮崎学園短期大学非常勤講師
平成21年3月 専攻科音楽療法専攻修了
中嶋 志保
(宮崎県立宮崎商業高等学校出身)

私は、本学にて行われた「音楽療法ミニ・フォーラ
ム」に参加させていただきました。

フォーラム前半では、幼児、成人、高齢者それぞ
れの領域での音楽療法のあり方を、音楽療法士と
は違った視点で聞くことができました。私は現在、
短大の非常勤講師として本学内の子ども音楽教育
センターで音楽療法に携わっています。また、その
他にも幼児、成人の福祉施設で音楽療法士として
仕事をすることがあります。その中で感じるのは、
施設の職員の方々と同じように感じるのは、
療法を行うのか、お互いに理解し連携していくこと
が、必要だということを感じました。

フォーラム後半では、実際の事例を通して熱い議
論がかわされ、大変勉強になりました。

これからも対象者として向き合っていくた
めに、このような研修等に進んで参加して、音楽療
法士としての質を高めていきたいと思っています。

参加者アンケートより(抜粋)

●様々な領域における事例を聞くことができ、共
通する音楽の力を感じました。またこのような機
会をつくって下さい。

●今日参加して、音楽療法のあり方や効果について
事例からも学びました。これからの介護現場での仕
事に少しでも役立てていきたいです。
などの感想が寄せられました。